

日合商は昭和 52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるものです。また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

Japan Plywood Wholesalers Association e-mail: jpwa@oboe.ocn.ne.jp
発行所: 日本合板商業組合 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-5-4 TEL 03 (5256) 9080

日合商HP
https://www.nichigoshu.net/



2025 年度 第二回理事会並びに 第一回合板需給懇談会 開催のご案内

2025 年 10 月 21 日(火)、LEVEL XXI (Twenty-One) 東京會館「スタールーム」において「2025 年度 第二回理事会並びに第一回合板需給懇談会」を開催いたします。

ご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせのうえご出席賜りますようお願い申し上げます。

日本合板商業組合 理事長 足立 建一郎

日本合板商業組合 第二回理事会

◆開催時間 13:30 ~ 14:30

◆議事事項

- ① 2025 年度上期事業報告及び決算見込みの件
- ② 役員の補充選挙並びに総代の欠員に伴う選出の件
- ③ 第 47 回通常総会(総代会)の件
- ④ 会勢強化の件
- ⑤ その他

◆報告事項

- ① 2025 年度要望(陳情)について

第一回合板需給懇談会

◆開催時間 14:45 ~ 16:45

◆議 題

- ① 林野庁の行政活動について
- ② 国内合板の供給動向について
- ③ 国内各地の需要動向について
- ④ その他(質疑応答)

懇親会(立食形式)

◆開催時間: 17:00 ~ 18:30

◆開催場所: LEVEL XXI (Twenty-One)
東京會館「スタールーム」

日合商会員の皆様へ 10 月号より『日合商時報』を メール配信に移行しました!



平素は日本合板商業組合の機関誌『日合商時報』をご覧いただき誠にありがとうございます。

当時報は長年に渡り紙媒体で発行してまいりましたが、デジタル化の流れや環境保全の観点を踏まえ、2025 年 10 月号より電子媒体へ移行し、【日合商メルマガでのデータ配信】に変更しました。

すでに全国各支部事務局より頂いた「時報配信用アドレス」を登録させていただいた皆様へは【日合商メルマガでのデータ配信】を実施しております。まだ手続きがお済でない方は、各支部事務局まで「時報配信用アドレス」をご連絡いただきますようお願い申し上げます。

2025 年度

合法木材・持続可能木材の供給認定事業者研修会 11 月開催日程

第 1 部「合法木材認定事業者研修会」 講師: 日本合板商業組合 本部事務局

第 2 部「改正 CW 法の概要と登録制度」 講師: 公益財団法人 日本合板検査会

合法木材・持続可能木材の供給認定事業者の分別管理責任者等に義務付けられている 3 年に一度の研修会を実施し、研修修了者に「受講証明書」を発行します。

日程	支部	会場
11 月 6 日(月)	東 関 東	千葉鉄鋼団地協同組合 会議室

各支部活動スケジュール

日程	支部	内容
11 月 14 日(金)	北関東・東関東・東京・神奈川	第 40 回 関東四支部合同懇親ゴルフ会 千葉カントリー倶楽部 野田コースにて
11 月 29 日(土)	九 州	懇親ゴルフ会 福岡カンツリー倶楽部 和白コースにて

【グリーン購入法】に基づき事業者新認定・期限更新した 13 社

2025 年 9 月末現在

東京・静岡 -0108-⑥	松尾産業(株)	代表取締役	松尾 幸二
東京・静岡 -0253	ハウディー(株)静岡営業所	執行役員 部長	久保田 隆弘
東京・静岡 -0254	(有)天城材木店	代表取締役	加藤 正喜
東京 -0211-④	丸志木材(株)	代表取締役	小川 隆文
東京 -0226-③	(株)日亜パートナーズ	代表取締役	羽根田 崇

神奈川 -0056-④	(株)一陽	代表取締役	高橋 篤史
神奈川 -0057-③	(有)大成物産	代表取締役	甘利 文生
中部日本 -0051-④	中京産商(株)	代表取締役	牧野 恒久
関西 -0069-⑤	(株)かぎや	代表取締役	鍵谷 昌英
中国・山陰 -0048-⑥	(有)平和木工	代表取締役	洗川 武史
中国 -0045-⑥	三洋建材(株)	代表取締役	本北 洋介
中国 -0047-⑥	(有)藤井材木店	取締役	藤井 正道
九州 -0036-⑤	西日本フレーミング(株)	代表取締役	濱根 雅一郎

GEO × LIVE
地球 × 生きる



GEOLIVE

次の生き方をつくろう。



合板需給検討委員会 2025 年 9 月 1 日（月）の検討結果

日本合板工業組合連合会・日本木材輸入協会・日本合板商業組合による「2025 年度第 2 回合板需給検討委員会」を林野庁木材利用課で臨席のもと、合板会館（日合商会議室）において開催。木材行政推進のための情報として林野庁に提供した合板の短期需給見通しの検討結果です。

国産合板の需要

1. 令和 7 年第 2 四半期の実績について 今回（646 千㎡）
（実績数量の背景、前年同期との比較等）メーカー主導による値上げが受け入れられ、また 3 月の新設住宅着工戸数の大幅増により、需要側は在庫補充を行う。しかし、4 月以降新設住宅着工戸数が大幅減になり、先行き需要の不透明感が漂い出した 6 月を迎えると、需要側は在庫補充の動きから、当用買いの動きに移行。なお、昨年めメーカー主導による値上げは唱えられていたが、需要の乏しさから価格は足踏み状態が続き需要側は当用買いを徹底。今期は 4 月～5 月に掛けて在庫補充の動きがあったことから、前回予測は下回ったものの、前年同期比 106.6%の実績となる。
2. 令和 7 年第 3 四半期の見込みについて 今回（620 千㎡）
（見込み作成の根拠、前年同期との比較等）4 月から 7 月までの累計で新設住宅着工戸数は前年同期比 2 桁減と、市況は盛り上りに欠ける状態。メーカーは、採算割れを回避するため値上げを唱え、小幅ながら値上げは継続。一方、需要側は値上げに対して協調しているものの、需要回復のタイミングが見極め難しく、且つメーカー在庫が漸増傾向にあることから当用買いを継続。前年同期は持家の着工数が 34 ヶ月連続して前年割れと市況は低迷し、価格の底値を探りながら当用買いを徹底していたが、今期は、需要回復のタイミングが見え難いものの、メーカー主導による値上げが通っていることから、前年の需要を若干上回る前年同期比 101.2 の需要と見込む。
3. 令和 7 年第 4 四半期の見通しについて 今回（640 千㎡）
（見通し作成の根拠）確認申請遅れ物件の着工や秋需による盛り返しによる住宅着工数の伸びに期待したいところだが、人手不足等による着工遅れや工期が延びることで着工時期は見えにくい状況にある。また、1 月～7 月までの住宅着工数の減少（92.1%）に比べ、同時期の合板出荷量は前年を上回っている（106.8%）ことから、流通在庫は前年に比べて多いと推測。前年は流通在庫が僅少の中、持家住宅の着工が上向き相応の需要となったが、今期は昨年同程度の着工数が確保できたとしても流通在庫が多いと推測され、昨年同程度の需要になるかは見通しにくい状況。よって、前期は上回るものの、前年同期を下回る需要になる見通し。
- （前年同期との差異について）結果、前年同期比 92.2%の見通し
4. 令和 8 年第 1 四半期の見通しについて 今回（630 千㎡）
（見通し作成の根拠）今後も住宅価格の高騰による着工減及び床面積の減少は続く予測。一方で、分譲戸建てメーカーの予算達成に向けた着工増の話も聞こえてくる。なお、メーカーが需要に見合った生産を継続し需給バランスが崩れず、価格が堅持できれば、多少の在庫補充に動くことも見込まれ、供給量相当の需要となる見通し。
- （前年同期との差異について）結果、前年同期比 97.4%の見通し。

東京の合板卸売り価格（円）		※東京都ベニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より （注）1 車単位（10 トン）問屋売り価格・90 日手形（JAS 製品）							
品 目		9 月 10 日	前週比	9 月 17 日	前週比	9 月 24 日	前週比	10 月 1 日	前週比
ラワン JAS F☆☆☆☆	2.3mm T2	920	0	920	0	920	0	920	0
	4.0mm //	1,200	0	1,200	0	1,200	0	1,200	0
	5.5mm //	1,380	0	1,380	0	1,380	0	1,380	0
	9.0mm //	2,000	0	2,000	0	2,000	0	2,000	0
	12.0mm //	2,550	0	2,550	0	2,550	0	2,550	0
針葉樹 構造用	F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,500	0	1,500	0	1,500	0	1,500	0
	F☆☆☆☆ 24mm 実付	3,400	0	3,400	0	3,400	0	3,400	0
	F☆☆☆☆ 28mm 実付	4,150	0	4,150	0	4,150	0	4,150	0
	F☆☆☆☆ 9mm 3×10	2,500	0	2,500	0	2,500	0	2,500	0
輸入・型枠用	12mm JAS 製品	1,910	0	1,910	0	1,910	0	1,910	0
輸入・構造用	F☆☆☆☆12mm JAS 製品	1,960	0	1,960	0	1,960	0	1,960	0



セイホクグループは
年間700万㎡の国産材を活用(HWP)し
合板の炭素貯蔵力で地球の未来を笑顔にします



セイホク株式会社 東京都文京区本郷1-2-5-5 TEL:03(3816)1031 FAX:03(3814)8299
宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867
宮城県石巻市重吉町1-7 TEL:0225(22)6511 FAX:0225(95)5867
西北ブライウッド株式会社 秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)8511 FAX:018(862)1513
秋田ブライウッド株式会社 秋田県秋田市向浜1-8-2 TEL:018(823)7265 FAX:018(864)8397
新秋木工業株式会社 岩手県宮古市磯鶏2-3-1 TEL:0193(62)3333 FAX:0193(63)3664
ホクヨーブライウッド株式会社 岩手県宮古市刈屋13-11-2 TEL:0193(72)2255 FAX:0193(72)3107
株式会社カリヤ 岩手県北上市和賀町後藤2-112-1 TEL:0197(73)5500 FAX:0197(73)5505
北上ブライウッド株式会社 岐阜県中津川市加子母5371-17 TEL:0573(79)5120 FAX:0573(79)5121
森の合板協同組合 松江エヌエル工業株式会社 島根県松江市八束町江島1376-2 TEL:0852(76)3730 FAX:0852(76)3900
新栄合板工業株式会社 熊本県水俣市袋赤岸海50 TEL:0966(63)2141 FAX:0966(63)2145
ファミリーボード株式会社 東京都文京区本郷1-2-5-5 TEL:03(3816)3366 FAX:03(3816)3699
アイプライ株式会社 秋田県秋田市川尻町字大川反232 TEL:018(823)0511 FAX:018(863)8452

 <https://www.seihoku.gr.jp/>

 <https://www.aplywood.co.jp/>

合板 短期需給見通し		(Unit : 1,000㎡)								
		供給			需要（出荷）			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2025(R7)4-6	前回予測	(1,163)	(640)	(523)	(1,180)	(660)	(520)	(942.115)	(101.911)	(840.204)
	実績	1,178.311	651.613	526.698	1,177.476	646.255	531.221	959.950	127.269	832.681
7-9	前回予測	(1,149)	(630)	(519)	(1,140)	(620)	(520)	(951.115)	(111.911)	(839.204)
	見込み	1,156.000	630.000	526.000	1,140.000	620.000	520.000	975.950	137.269	838.681
10-12	前回予測	(1,169)	(650)	(519)	(1,160)	(630)	(530)	(960.115)	(131.911)	(828.204)
	見通し	1,155.000	650.000	505.000	1,170.000	640.000	530.000	960.950	147.269	813.681
計		4,647.704	2,584.378	2,063.326	4,640.822	2,552.787	2,088.035			
2026(R8)1-3	見通し	1,135.000	630.000	505.000	1,160.000	630.000	530.000	935.950	147.269	788.681

輸入合板の需要

1. 令和 7 年第 2 四半期の実績について 今回（531 千㎡）
（実績数量の背景、前年同期との比較等）原木不足や現地人件費の上昇等により、現地シッパーは値上げを唱えるものの、輸入商社は市況回復が見えにくいことから積極的な手当ては行わず、また価格は需要の乏しさから保合で推移。前年は、1 ㎡ 160 円に迫る急激な円安により、輸入商社は手当を控え、需要側も先行き不透明感が漂い当用買いを徹底していた。今期も先行き不透明感が漂うものの、港頭在庫の減少により品薄製品中心に手当を行ったことから、前回予測を多少上回る前年同期比 105.1%の実績となる。
2. 令和 7 年第 3 四半期の見込みについて 今回（520 千㎡）
（見込み作成の根拠、前年同期との比較等）前期同様に現地からは値上げ要請はあるものの、市況低迷により輸入商社は積極的な手当ては行わない状況。なお、7 月のマレーシアからの輸入量が 6 万㎡を超えたが、これは前月入港が遅れた船が入港したことによる一過性のもの。今期は新設住宅着工遅れ等の影響により市況感昨年より更に悪く、加えて価格上昇も限定的で大きな影響は無いと見込む需要側は当用買いを継続。しかし、価格の先高観があることから、一部では割安感のある製品確保の動きもみられる。よって、前年同期は下回るものの、前回予測と同数時の前年同期比 96.3%の需要と見込む。
3. 令和 7 年第 4 四半期の見通しについて 今回（530 千㎡）
（見通し作成の根拠）現地では、原木不足や生産コストの上昇により値上げは継続すると予測。なお、現地は雨季に入り原木の不足感は更に高まり、需要が盛り返しても直ぐに対応は厳しい状況になると想定されるが、市況の停滞感が漂うことから、新規発注は抑えられ、港頭在庫は大幅に減少していくと予測される。秋需に期待したいところだが、大型再開発物件も次期以降からの情報もあり、需要への影響は限定的と推測。但し、港頭在庫の減少や価格の先高観があることから、品薄製品中心に手当は行われると見込み、前回予測と同数量の需要となる見通し。
- （前年同期との差異について）結果、前年同期比 98.4%の見通し
4. 令和 8 年第 1 四半期の見通しについて 今回（530 千㎡）
（見通し作成の根拠）前期に引続き、新規発注は抑えられ、更に港頭在庫は減少していくと予想される。一方、需要側では首都圏を中心とした大型再開発プロジェクトを控え、型枠合板をはじめとした製品確保に向けた動きも想定されるが、人手不足による着工遅れ等もあり着工時期は不確定要素があるため、需要に大きく影響がでるかは想定外とする。然しながら、港頭在庫が減少し欠品が想定されることから、需要側は品薄製品の確保に向けた手当は引続き進むと予測し、前期と同数量の需要となる見通し。
- （前年同期との差異について）結果、前年同期比 104.6%の見通し。

更にパワーアップ！

福利厚生


のサービス向上を図る

福利厚生制度

「損害保険 / 集団扱制度」ご紹介！

2025 年 9 月に「労災あんしん保険」が福利厚生制度（集団扱）の種目に追加されました。労災あんしん保険では事業者の皆さまの従業員の業務上のケガや病気のほか、労災事故等により企業が負う損害賠償リスクを補償でき、会員の皆さまを取り巻く労災リスクをまとめてカバーします！

お問合せ
日新火災海上保険(株)
マーケット開発部 戦略マーケットグループ
宮原広樹まで
TEL：03-6705-2436 FAX：03-5619-0065



高性能グラスウール断熱材

NEW!

アクリアαシリーズに新製品登場

断熱等級6にもおすすめです！

アクリア

AcClearTSA

アルファ

高性能 28K 105mm 厚
熱抵抗値 R3.3 を達成！
長尺形で施工性も UP

防湿フィルム別張りタイプ

軽量！

アクリアウールα
高性能 36K と同等の
熱抵抗値で重量
約 22%ダウン

2.9 ミクロン
超細繊維

従来のアクリアα繊維
よりさらに細い繊維で
断熱性能が向上


片面透湿フィルム付きで
施工しやすい！


ノン・ホルムアルデヒドの
高性能グラスウール

NON
ホルムアルデヒド

●お問い合わせ TEL.0120-99-6388
9:00～12:00、13:00～17:00（平日のみ）

吉野石膏グループ
旭ファイバーグラス株式会社





合板市況と今後の見通し

日本合板商業組合東京支部
東京都ベニヤ板問屋協同組合
新風会 猪爪 清和

概要

2025 年 7 月の新設住宅着工戸数は 61,409 戸（前年同月比 9.7%減）で 4 カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は 37,024 戸（前年同月比 8.4%減）で 4 カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は 71.2 万戸で前月比 9.9%増、2 カ月連続の増加となる。

利用関係別では、持家が 17,665 戸（前年同月比 11.1%減）で 4 カ月連続の減少、貸家は 27,412 戸（同比 13.1%減）で 4 カ月連続の減少、分譲住宅は 15,886 戸（同比 1.7%減）で 4 カ月連続の減少となった。分譲の内訳は、マンションが 5,971 戸（同比 1.6%減）4 カ月連続の減少、戸建ては 9,709 戸（同比 2.7%減）と 4 カ月連続の減少となった。

持家、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比 9.7%の減少となった。

国内・外合板の供給量

7 月の国内合板生産量 21.4 万 m³（前月比 98.7%、前年同月比 105.3%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は 21.2 万 m³（同比 98.9%、105.8%）となり、出荷量は 20.8

万 m³（同比 103.1%、99.6%）で在庫量は 18.9 万 m³となった。

輸入合板の 7 月度入荷量は 18.6 万 m³（前月比 109.5%、前年同月比 102.6%）となった。国別入荷量は、マレーシアが 6.9 万 m³、インドネシアが 5.3 万 m³、中国が 3.7 万 m³、ベトナムが 2.7 万 m³となっている。

今後の見通し

国内針葉樹合板は多少の荷動きがあり、直需関係では仕事量が増えつつあるが、現実として川下からの揺さぶりもあり、まだ安値販売が散見される。在庫量が高水準にあることや、まだ価格が安定しないことから市場は当用買いが徹底されており、短納期での発注が多くなっている。

輸入合板は、港頭在庫がわずかに減少する一方、出荷は堅調に推移しており、在庫状況は品目ごとに差がある。産地ではこれから雨季を迎えるため、丸太の出材量が減少し、生産量も縮小する見込み。その影響で、今後の入庫は落ち着くと予想される。また、急激な円安や現地シッパーの強気な姿勢により、先物の手配には各社慎重な姿勢を取っている。その結果、安価な現物確保の動きが強まり、一部品目では欠品も発生している。今後はコスト増を反映した製品の入荷が予想され、価格上昇は避けられない。総じて、荷動きは停滞しておらず、実需は堅調に推移していると考えられる。

新しい幸せを、わかつこと。

NORITZ

毎日使うものが、環境配慮にもなる。
ノーリツなら、環境性と省エネ性を両立。

わかっている人から選んでいる。
ノーリツの
自然冷媒ハイブリッド給湯機
HPHB R290

株式会社ノーリツ 本 社 〒650-0033 神戸市中央区江戸町93(栄光ビル)
●商品についてのお問い合わせは… TEL.0120-911-026

約300mm幅のワイドサイズ
床暖房対応の直貼り遮音フローリング

幅広サイズでモチーフとなる素材の表情を余すところなく表現しました。
新築マンション、リフォーム、リノベーションに最適です。
また、トレンド感ある異素材ミックスコーディネートが可能です。

comCarbo
コンカーボ
DIRECT
ダイレクト

木を活かし、よりよい暮らしを
EIDAI 永大産業株式会社
www.eidai.com

お客様相談センター
☎0120-685-110
受付時間 平日 9:00~17:00
休業日 土曜日、日曜日、祝日、夏期休暇、年末年始

EIDAI
ホームページ

EIDAI
Instagram

ライトモルタル柄

間伐材で実現する
美しい木の質感と
高い耐久性を併せ持つ
新しい木粉ウッドデッキ

KKAA × **FUKUVI**

Deck ND
KKAA

木のリアルに迫った再生木デッキ

FUKUVI
フクビ化学工業株式会社

【本社】〒918-8585 福井県福井市三十八社町 33-66
TEL 0776-38-8011 https://www.fukuvi.co.jp/

特設サイト
こちら>>

銘木挽き板内装材 ボード / 挽き板

WOODRIUM

美しさ、機能性、環境性を兼ね備えた、
かつてない選択肢。

WOODRIUM

木を諦めてきたキッチンや洗面台のカウンタートップなどにもお使いいただけます。

WOODTEC
朝日ウッドテック株式会社

大阪・関西万博視察旅行を実施しました

9月17日（水）～18日（木） 山梨地区支部

会員・準会員・賛助会員合わせて13社17名参加



日合商ホームページトピックスより抜粋

<https://www.nichigosho.net/topics/>



2025.09.19 官公庁からのお知らせ

【林野庁木材産業課】アンケート結果等のお知らせ「価格転嫁・適正取引に関する農林水産大臣メッセージ」

価格転嫁、取引適正化等に関するアンケート結果を取りまとめたHPにアップ（公正取引委員会からの取引適正化等に関する説明資料「資料6」も掲載）。

2025.09.17 官公庁からのお知らせ

【林野庁】「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」

「モクレポ～林産物に関するマンスリーレポート～」は、木材需給、木材価格、木材産業の動向などに関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表、林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。9月号では、令和8年度林野庁関係の予算概算要求や、税制改正要望事項の概要などを特集。

2025.09.12 官公庁からのお知らせ

【林野庁】米国関税（相互関税等）についての情報共有

米国関税について、9月4日の大統領令で日米合意の履行について発表された内容を資料「米国の関税政策（木材関連）」、参考「9月4日付け大統領令（日米協定の履行）」に取りまとめて公表。

2025.09.12 お知らせ

【（一社）全国木材組合連合会】令和7年度JAS構造材実証支援事業の追加公募のご案内
非住宅建築物等にJAS構造材を活用する実証的取り組みに対し、その木材の調達費の一部を助成。詳細は、JAS構造材実証支援事業HP参照。

2025.09.10 官公庁からのお知らせ

【林野庁】最低賃金の引き上げに関する支援の拡充について

「中小企業・小規模事業者の賃金向上推進5か年計画」の一環として、生産性向上の支援策を強化。最低賃金の引上げに対応する中小企業・小規模事業者に対し、当面の措置として、助成金及び補助金について、対象の拡大、要件緩和等の措置を講じる。

2025.09.08 官公庁からのお知らせ

【林野庁】物資の流通の効率化に関する法律の来年度施行に関わる政省令の公布について

我が国の物流を持続可能なものとするため、令和6年に物流効率化法が改正され、今年度から、全ての荷主に対して、物流効率化に取り組む努力義務が課されるとともに、来年度から、一定規模以上の荷主は届出を行い、物流効率化に係る中長期計画や定期報告等を義務付け。

日合商 WEB セミナー（You Tube 配信）ご案内

講師：清水英雄事務所株式会社 代表取締役社長 清水 大悟 氏

第三回定期セミナー

2025 年 11 月 21 日（金）14：00～15：30 予定

「令和8(2026)年度概算要求から読み解く

住宅・建築・不動産業界の最新動向」

概要：令和8年度の概算要求が国土交通省・林野庁・経済産業省・環境省・内閣府・総務省・厚生労働省など各省庁から一斉に公表されました。本セミナーでは、その中から建設・建築・建材・設備・省エネ・不動産分野に直結するポイントを抜粋し、住宅業界にどのような影響が及ぶのかを解説いただきます。



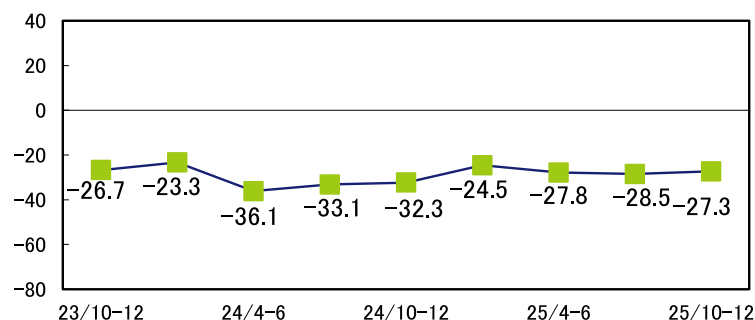
なお、ご視聴申込みにつきましては10月中旬頃にご案内致します。

JK 情報センター

「2025(令和7)年10月～12月需要動向予測調査」より抜粋

販売店様による景気動向の推移

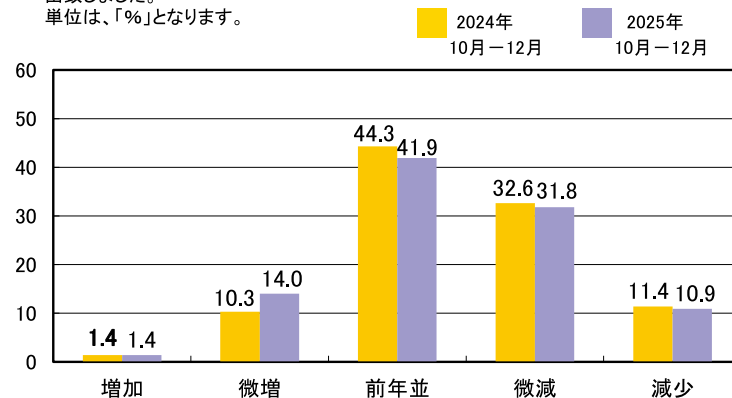
過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。



販売店様による地域別需要予測

全 国 回答数 2,663

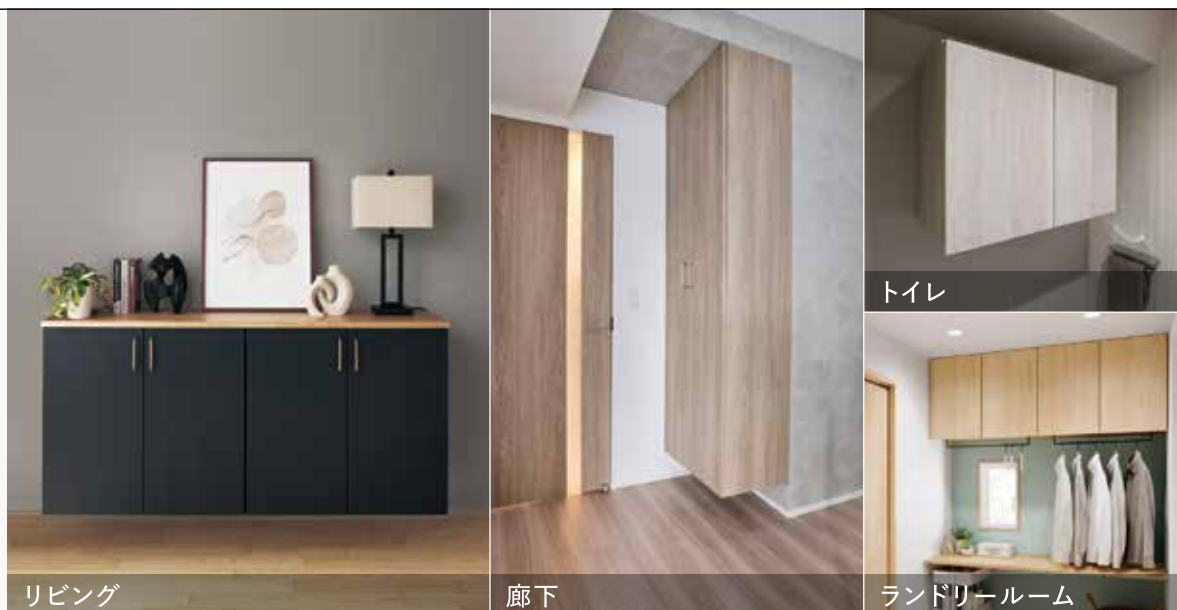
「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中から
お選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算
出致しました。
単位は、「%」となります。



Panasonic

住まいに
プラスアルファの収納を
パナソニックの
多用途収納

リフォーム提案・施工に
役立つ情報はこちら



パナソニックハウジングソリューションズ株式会社

くらしの「ずっと」をつくる。

